

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部

学年：3 年

留学先大学：University of Alabama

現在の学期：Spring Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	9:00 – 9:50 Elementary Korean 11:00 – 11:50 Southern Studies 13:00 – 13:50 Intro to Hospitality Management
火	12:30 – 13:45 American Pop Music
水	9:00 – 9:50 Elementary Korean 11:00 – 11:50 Southern Studies 13:00 – 13:50 Intro to Hospitality Management 14:00 – 16:30 Science Fiction: Borders of Identity
木	12:30 – 13:45 American Pop Music
金	9:00 – 9:50 Elementary Korean 11:00 – 11:50 Southern Studies 13:00 – 13:50 Intro to Hospitality Management
土・日	

履修科目や近況について

▶履修

秋学期に引き続き、自らの研究分野（とりわけ卒業論文に向けて）に関連した授業を中心に選択しています。今学期では、前学期において、授業形態や大学生活にある程度慣れてきて、少し心の余裕が生まれたので、より専門的で、深く考察するような内容を学ぶことができる科目を多めに取りました。留学前から気になっていた、Introduction to Urban Studies と Amusement and Tourism は今学期は開講されていなかったため断念しました。秋学期の生活を通して興味を持った韓国語や、将来の自分の就きたい仕事に関して役立ちそうなホスピタリティの授業も同時に履修しています。

▶授業 () 内の数字はコースのナンバリング

- Southern Studies (201)

この授業は、アメリカ南部地域の歴史や文化に関連したテキストや自伝などを通して、南部研究における多角的な視点や、他地域や社会との相互作用性について学ぶ授業です。期間としては南北戦争前から公民権運動後まで時代を中心に扱います。基本的に、与えられた資料を事前に読み、授業は教授と生徒とのディスカッションをベースに進めていきます。学期内で2つのエッセイ（3ページほど）を執筆し、最終課題として自分で決めたテーマに関するエッセイ（5ページ）を作成します。他にも、毎日の授業の予習として、考えをまとめた文章を提出したり、金曜日は、授業の代わりにライティングの課題が課せられたりすることもあります。

- American Pop Music (280)

この授業は、アメリカにおける主流のポピュラー音楽について学んでいきます。1950年代から今に至るまでに、音楽がどのような位置づけとして、社会に浸透してきたか、聴衆にどのような影響を与えてきたかについて学びます。基本は講義形式で、授業の中では、説明だけでなく実際に音楽を聴く活動もあります。千葉大学で、アメリカの音楽についてはある程度学んできたので、復習もしつつ、新しい内容も取り入れられるよう努めています。学期中に4回テストがあり、記述式になっています。毎授業では、質問に対する自分の考えを述べる課題があります。

- Science Fiction: Borders of Identity (334)

この授業は、文学、映画、テレビを通してサイエンスフィクションという分野について考察します。特に、人種や階級、ジェンダー、テクノロジーなど過去から現代における社会問題との関連性を中心に学んでいきます。授業時間が長いので、毎授業で映画やTVショーを見て、その後はディスカッションベースで、生徒が各々の意見を出し合いながら、扱った作品について議論しています。学期中に3つのサイエンスフィクションの小説を読み、それぞれに対するレスポンドエッセイ（5ページほど）を執筆します。また、学期末には、まとめとしてサイエンスフィクションに関連した自分で設定したテーマに対するエッセイ（英語で2700字程度）を完成させます。

- Elementary Korean (101)

この授業は、韓国語の4技能を育てる授業です。基本的に、教科書に沿って自ら予習をし、授業内では「言語トレーナー」である先生と一緒に、少人数クラスで発音の練習や、文法の確認、会話練習、また韓国の文化について学んでいます。授業内では、時々ミニテストがあり、単語や発音のテストを行います。最終課題として、先生との会話のテストがあります。

- Intro to Hospitality Management (175)

この授業では、レストランやホテル業界、スポーツイベントなどのマネジメントやその基礎にあたる原理について学びます。また、それに関連した問題についても一緒に扱い、ホスピタリティ業界における仕組みや課題について考察を深めます。基本は講義形式で、教授から質問を投げかけられるときもあります。ゲストスピーカーが講演をしてくれる機会もあり、実際の現場で働いている人の話を聞くこともできます。学期内では、3回テストがあり、また、ミニテストや、授業内容に関連した自分の経験をまとめる課題もあります。

その他として、千葉大学の授業を2つオンラインで受講し、また3年次論文も執筆しました。



・ある授業の教室風景

▶生活

<寮>

秋学期と同じ寮で生活しており、秋は20名ほど住んでいましたが、春は10人で生活しています。新しい友達との生活にも慣れ、みんなでお話をしたり、ちょっとしたイベントをしたりしています。食事については、秋学期に比べ、少し忙しくなっているので自炊の数は減りましたが、秋学期に一緒に住んでいた日本人の友達がいくつか残してくれた簡単に調理できるものを中心に食べています。

<授業外活動>

春学期は、秋と同様2つのコミュニティに所属しています。Bama Intramural Tennisで

は、週2回、キャンパス内のテニスコートで2時間ほど練習をしています。JLCS(Japanese Language and Culture Society)では、日本語を学んでいる学生、日本や日本文化が好きな学生と一緒に日本語の勉強をしたり、日本に関連したイベントに参加したりしています。週2回活動があり、Japanese Conversation Café という日本語を使って会話をする場や、秋学期のイベントとしては、折り紙をしたり、お好み焼きを作ったり、2月には節分を祝ったりしました。

また、毎週月曜日には Korean Conversation Hour があり、韓国語を使って会話の練習をしたり、韓国文化について学んだりしています。

Language Partner Program というものにも参加しており、週1回 Language Partner と一緒にお話をしています。お互いの文化や、日常の出来事、好きなことについてなど様々なトピックを共有しながら、英語力を鍛えています。

また、Work Shop というものにも申し込みました。ここでは、アメリカで生活していくにあたって必要な知識や、セルフマネジメント能力を育成するための場で、ほかの国際留学生（ナイジェリア・コロンビア・スリランカ・バングラディシュの大学院生とコーディネーター）と一緒に活動しています。

金曜日には Muticultural Coffee Hour というイベントがあり、毎週違う国がフィーチャーされ、その国の料理を楽しみながら、ほかの生徒との交流を楽しむ場にも 参加しています。

また、車で 45 分ほどの場所に、日本語教会があり、日本人の牧師さんに何度か誘われ、お邪魔させてもらっています。そこでは、キリスト教のことについて学ばせてもらったり、日本料理をいただいたりしています。

他にも、quad という大きな広場で友達とバレーボールをしたり、Recreation Center でバスケットボールをしたりしています。Recreation Center では、毎週ジムに行って運動をしたり、サウナに入ったりしています。

勉強で忙しいこともあるので、その際は図書館に行って勉強しています。金曜日と土曜日を除いて一番大きな図書館は、深夜 2 時まで開いているので、夜遅くまで勉強することもあります。

大学は、無料のシャトルバスを提供してくれているので、平日でも、キャンパスから少し離れたショッピングモールやスーパーマーケットに行くことができ便利です。



・ 節分のイベント



・ 図書館の内装



・友達の家でタコバ



・キャンパス内の夕焼け



・Recreation Center

▶旅行

12月の2週目から1月の1週目まで冬休みがあったので、その機会を利用してアメリカ国内（フロリダ州、ヴァージニア州、ニューヨーク州、イリノイ州）を旅行しました。クリスマスには、ヴァージニア州にいる友達の家にお邪魔させていただき、アメリカのクリスマスを体験しました。日本とは違い、規模が非常に大きく、文化の違いを経験できました。また、北部の大都市であるニューヨークやシカゴにも行きました。大学とはまた違う雰囲気の中でとても新鮮でした。年末には、ニューヨークのタイムズスクエアで行われたカウントダウンイベントに参加し、アメリカならではの大規模なパーティーを感じることができました。

春学期にも1週間ほど休みがあるので、New Orleans や Key West Island に旅行したいと思っています。また、帰国前にも何日かアメリカに滞在できるので、西海岸を旅行する予定です。



・プレゼントの家



・New York のカウントダウン



・クルーズ船からみた Chicago

▶その他

1月にはアラバマで稀にみる雪も降り、2月に25度近くまで上がる日もあって、寒暖差が激しい気候が続いています。その影響からか、12月、1月で何度か体調を崩してしまった

ので、休息も取りつつ、無理しない程度に生活するのが大事だと思いました。

春学期は、秋学期ほど日本の学生が多くないので、英語を話す機会がより増えていて、新しい出会いもあります。学生や教授たちは皆気軽に話しかけてくれるので、毎日たくさんの人と会話ができて、充実した生活を送れています。

旅行中に一度トラブル（Delayed Baggage）があり、少し慌ててしまった場面がありました。アメリカにいと、そのような不測の事態は常に起こっているなので、日々気を引き締めながら、貴重品や体調管理は徹底するのが大切だと思います。



・キャンパスの雪景色

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部

学年：3年

留学先大学：University of Alabama

現在の学期：Fall Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	8:00 – 8:50 Undergraduate Academic Speaking 10:00 – 10:50 Introduction to American Pop Culture
火	8:00 – 9:15 Introduction to Global & Cultural Perspectives 9:30 -10:45 Introduction to African American Study
水	8:00 – 8:50 Undergraduate Academic Speaking 10:00 – 10:50 Introduction to American Pop Culture
木	8:00 – 9:15 Introduction to Global & Cultural Perspectives 9:30 -10:45 Introduction to African American Study
金	8:00 – 8:50 Undergraduate Academic Speaking 10:00 – 10:50 Introduction to American Pop Culture (OnDemand)
土・日	

履修科目や近況について

▶ 履修

履修科目については、英語を伸ばすための授業、留学生におすすめの授業、主な研究内容であるアメリカ文化や特に興味のある分野（人種問題）に関連する授業を履修しました。Southern Studies や Dirty Jobs、Contemporary America などの授業もありましたが、他の授業と時間が被ったため、断念しました。The Roots of American Music は前提条件があった為、大学側と連絡を取って特別に許可をいただきました。しかし、初回に参加してみて思っていた内容から少し違っていたので、履修登録から外しました。

▶ 授業

-Undergraduate Academic Speaking は英語を母国語としない学生の、スピーキングにおける流暢さや、会話を続ける力を向上させる授業です。週 3 回の授業で、履修をしたのが自分だけ（マンツーマン授業）なので、不定期で週 2 回になるとことがあります。教科書を通

してプレゼンの仕方を学んだり、先生との会話を通して、英語を話すうえでの自信をつけていったりします。5回のプレゼンと1回のインタビューの評価が成績の主な部分です。

-Introduction to American Pop Culture は1880年代1970年代におけるアメリカ文化の形成と歴史の関連性を社会的な側面から考察していきます。週3回の授業で、月水は対面で講義の授業を行い、金はオンデマンドでその週の内容に応じたライティングの課題を提出します。学期を通して3回のテスト（オンデマンド）と金曜の課題、および日々の授業の出席で評価されます。

-Introduction to Global & Cultural Perspectives はグローバルな視点から、文化的、経済的、政治的問題を検討し、文化の背景が私たちの行動や考え方にどのような影響を与えるか、その異文化理解と国際問題に対する知識や認識の獲得を目指していく授業です。週2回で、講義とディスカッションを交えながら進めていきます。毎授業前にリーディングの課題があり、多いときは30ページほどの分量があります。学期を通して、Writing-Quiz（1回）とテスト（2回）、およびプレゼン（1回）の評価で成績をつけます。

-Introduction to African American Study は米国における、アフリカ系アメリカ人の歴史と文化、およびアイデンティティを現代社会との複雑な関係から学んでいきます。週2回の講義の授業で、毎回レジュメが渡され、メモを取りながら進めます。週の授業後には、翌週月曜までのWritingの課題が掲示され、またテストはなく、課題とプレゼン（1回）で成績をつけます。

他にも、千葉大学のオンデマンド授業を10月から履修予定です。

▶ 日常生活

<寮>

International Rotary という場所に住んでおり、International students と現地の学生の約20人が一緒に住んでいます。リビングやキッチン共用スペースで、一緒に会話をしたり、勉強やそれぞれの趣味を楽しんだりしています。2人部屋で、シャワーとトイレを共用で使っています。私は、主に自炊をしたり、リビングでおしゃべりをしたり、部屋で映画を見たりして自由時間を過ごします。不定期でパーティなどをして、みんなで映画を見たり、誰かの誕生日の日には、みんなでケーキを食べたり、ゲームをしたりして祝っています。学内では、定期的にイベントが開催されており、ほかの留学生や現地の学生と交流して楽しんでいます。

<自由時間>

土日は基本授業がないため、基本自由に行動しています。Football の試合がある日は、スタジアム観戦ができます。また、Recreation Center という総合施設があり、無料でジムや体育館、プールを使用できます。またテニスコートもあり、私は Bama Intramural Tennis というテニスクラブに所属し、週3～4回テニスを練習しています。他にも JLCS(Japanese Language and Culture Society)という現地で日本語を勉強している学生と交流するクラブにも入っており、週1回一緒に活動をしています。

キャンパスの近くにはショッピングモールや大型スーパーがあり、水曜と日曜に無料のシ

ヤトルバスが出ているため、空いている日は遊びに行っています。

学内には4つの図書館があり、深夜まで空いている場所もあります。課題がたまっている場合は、図書館で勉強したり、またカフェが好きなので、キャンパス内のカフェに行って勉強したりしています。

▶ その他

現地の学生はすごくフレンドリーで、初めて会う人とでも常に楽しく会話をしています。また、ほとんどの生徒が自分の車を持っているので、ちょっとした遠出をしたいときは、友人に乗せていってもらったり、誘ってもらった場合も一緒にお出かけをしたりします。旅行はまだしていませんが、今後休みの期間があるので、そこで New Orleans, Florida, New York に訪問する予定です。

▶ 写真



Denny Chimes (シンボル)



Amelia Gayle Gorgas Library (学内最大)



自然の多いキャンパス



テニスの練習 (Indoor court)



キャンパスの近くの Target (大型スーパー)



BBQ restaurant



Football 観戦 (Bryant Denny Stadium)



My Birthday Party